



炎の子



2025年11月14日(金) 第18号

11月7日(金) 大野こまちなみ探訪に行きました。爽やかな秋晴れの中、自分たちの班で計画したプランで大野・金石の町を散策しました。これは、2年生の金沢自主プラン、3年生の修学旅行につながる大切な行事でした。今回の活動を通して、学んだことや反省したことなどいろいろあったでしょう。それを必ずこれから活かして行ってほしいです。

みんなの感想から(一部抜粋)

大野は醤油や和菓子が盛んで、それを生かした活性化プランを作れそうでした。神社までの階段が特徴的だったりして、そこも生かせそうでした。

歩いている時に地域の人が話しかけてくれました。大野の人は親切だと思いました。銭五公園では、大野の自然の映ったいい写真が撮れました。記念館の前の公園では紅葉のいい写真を撮ることができました。実際に行ってみるといろいろな発見がありました。写真コンテストが楽しみです。

(1組 勝木 颯太)

大野こまちなみ探訪の計画を立て始めてから、班のみんなで協力してプランを考えたりスライドを作成したりすることができた。私たちが生まれ育った地元のことについて、今まで知らなかったことを知ることができた。

探訪中には、少し道に迷ったりしたときも班のみんなでマップなどを見ながら助け合うことができた。このような班のみんなで協力したりすることはこれからも大切になっていくと思うので、またこのような機会があったときには、今回よりもよいものにできるよう頑張りたい。

(3組 宮田 栞)

私は班で協力してプランづくりをしたり、ポスターをつくったり、当日はプラン通りになるようにみんなで話し合ったり、とにかく、班でいっぱい協力することができました。そして、班のメンバーとはより仲良くなれたし、すごくよかったです。

近くに住んでいるのに、思ったより大野の道が分からなかったり、通ったこともないお店や道があったりして、大野こまちなみ探訪で知ることができたことが多くあったと思いました。プラン通りに行かないこともたくさんあったけど、それもいい思い出になりました。

(4組 駒澤 あゆみ)

私が思った班の良いところは、みんなが自分の意見を持ちそれをみんなに言えることです。少人数だからかもしれないけど、私が「この道どっちだっけ?」と聞くと、みんなが地図を見て「こっちじゃない?」と教えてくれました。みんなが意見を持っているから、みんなが同じ目的に向かって行動すると、とても良い班になるんだろうなと感じました。

(2組 岡田 紡)



予定が狂ってプラン通りに行かなかった部分もあったが、班みんなで協力して楽しく学ぶ事ができたので良かった。

私が特に素敵だなと思ったのは、いきいき魚市に行ったとき、竹内さんや辻さんが色々と質問していたことだ。店側の人から声をかけてもらったが、すぐに思いついた疑問を聞こうとする姿勢がとっても素晴らしいと思う。質問したからこそ、私達はより学びを深めることができたと思う。だからこそ、こういう機会をくださったことに感謝したいし、日常生活につながる部分もあると思うから、これからの学校生活も落ち着いて行動できるように頑張りたい。

(1組 古暮 莉羽)

私は、協力することの大切さを学びました。なぜなら道が分からなくなったけどみんなで相談することで無事にゴールにたどりつくことができたからです。そして班員で協力してプランを進めることで、集合時間より早く集合場所に着くことができました。

(5組 架谷 歩実)

最初に行ったのはヤマト糺パークで、写真を撮ったりしました。次からくり記念館に行きました。色々なものがあって良かったです。金石町家では階段を上がっているとき「こわい、こわい」などと言ってしまい、二階に着いたときに人がいたので「うるさくしてしまったな」と思いました。

本当によかった場所は海沿いの道路や金石の町中です。またいつか行きたいです。(3組 千田 晴仁)

大野こまちなみ探訪をして、海禅寺にいる「不動明王」みたいな名前の神様がいて、説明を聞いたら、思ったよりもすごいことをしていておどろきました。班活動で、お寺を巡って、お寺の良さや魅力が分かったので良かったです。来年の進化したのも楽しみです。

(4組 土肥 龍也)

今まで行ったことのないところや大野町の良さがたくさん分かって良かったです。プランを決めるところでは、班の人とたくさん話し合い、プランとスライドをしっかりと完成させられたので良かったです。当日は、最初は時間がなかったり迷子になりかけたりと色々大変なこともあったけど、班の人たちと協力して、安全に色々な場所に行けたので良かったです。大野こまちなみ探訪で色々なことを学べて、班の人とも仲よくなり家族の人にもお土産を買えて、行ってよかったなと思いました。

(1組 野村 栞理)

予定で時間が遅れてしまったり早かったりしたときに「じゃあここ近いし行ってみよう」とか声をかけあえたりしました。地図の見方が分からなかったときも、自分から見てくれて迷子にならないようにすることができました。道路では車が来たときに声をかけ合ったり、班でかたまって協力して動くことができました。

(2組 平田 環奈)

私は班長として班の人を引っ張って計画通りに大野こまちなみをまわることを心がけて頑張りました。

班長として行動するとき、方向音痴で班の人を困らせたりすることがないように気を張りすぎて空振こともあったけど、班の人が手助けしてくれてうれしかったし、そのおかげで目的地にゴールできたと思います。班の人や周りの人に助けられた場面が多くあったから、手を差し伸べてくれた人たちに感謝を伝えたいです。

(5組 伊藤 奏)

ぼくはこの大野こまちなみ探訪を終えて、仲間との絆が深まってより楽しくすることができました。道に迷ったけど、仲間と協力して無事に目的地までたどりつくことができました。地域の人たちは、ぼくたちにおすすめの場所や自分たちが目的地にしている場所への行き方を教えてくれました。本当にありがとうございました。

(2組 安藤 春成)

僕は、大野こまちなみ探訪をして、思った以上に観光客の人などがたくさんいるなと感じました。からくり記念館などで、楽しみながらよさを知っていくことができました。班で協力していろいろなところに行ったり、銭屋五平記念館へ行けたりできたので良かったです。

次からはみんながルールやマナーを守っていけるようにしたいと思いました。(3組 五十村 翼)

プラン名に沿って計画をし、みんなに味噌やしょう油などを好きになってもらうためにいろいろな写真を撮ったり調べたりして、大野こまちなみ探訪をすることが出来て良かったです。

自分は反省点があったけど、それを今後に生かして、2年生の金沢全体の探訪などにその失敗を生かせたらいいなと思いました。班で協力し、大野金石地区の良さを再発見できたので良かったです。

(4組 太田 望結)

僕は、班の人と協力することと時間を守ることの大切さを学びました。

一つ目の協力することでは、道が間違っていないか確認したり、見学の際他の人に迷惑をかけていないか声をかけ合って注意できたからです。二つ目の時間を守ることで、時間に遅れないか考え、時計を見て余裕を持って探訪できたからです。

これは学校生活でも大切になってくると思うから、今後も意識したいです。(5組 桐野 幌大)

